

津南警察署協議会議事録

令和7年度第3回津南警察署協議会	
日時 場所	令和8年2月9日(月)午後3時25分～午後4時20分 津南警察署2階大会議室
出席者	<p>1 三重県公安委員会委員 志田幸雄委員</p> <p>2 警察署協議会委員 11名 稲森三也委員、岩脇里司委員、奥田浩三郎委員、川俣佳彦委員、岸富喜委員、坂本直哉委員、鈴木洋一委員、福井賛委員、松本英子委員、山中里恵委員、山野重俊委員</p> <p>3 警察署 9名 署長、副署長、会計課長、警務課長、留置管理課長、生活安全課長、刑事課長、交通課長、警備係長</p>
傍聴者数	なし
公開・非公開の別	公開
議 事 概 要	
<p>1 三重県交通安全研修センターの視察</p> <p>2 公安委員会委員挨拶</p> <p>3 警察署長挨拶</p> <p>4 管内治安情勢(警察署長)</p> <p>(1) 刑法犯認知及び検挙件数</p> <p>(2) 特殊詐欺認知及び検挙状況</p> <p>(3) SNS型投資・ロマンス詐欺認知及び検挙状況</p> <p>(4) 人身安全関連事案対応状況</p> <p>(5) 暴力団及び薬物犯罪検挙状況</p> <p>(6) 交通事故発生状況</p> <p>5 交通事故の現状と抑止対策及び速度取締り指針に関する説明(交通課長)</p> <p>6 協議内容</p> <p>(1) 法定速度規制について <委員> 令和7年9月1日から設定された時速30kmの法定速度とは、どのような道路状況にあるところで適用されるのか。 【交通課長】 生活道路等における危険を防ぐための速度制限であり、中央線がなく、かつ標識による速度規制の無い道路において適用されるものとなる。</p> <p>(2) 交通事故発生傾向における要因及び統計等について <委員> 過去5年の交通人身事故発生数が横ばい傾向であるとのことであるが、自動車の安全装置の性能が年々向上し、安全装置による事故回避で事故件数が減少していると捉えると、そうでない事故は増えているとも考えられるのか。 【交通課長】 更に長期スパンでの傾向としては減少傾向にある。安全装置機能の有無で分けた増減件数をお示しできていないが、交通人身事故の発生形態で最も多いのが追突事故であり、原</p>	

因となる前方不注視には、携帯電話の使用等が考えられる。

<委員> 交通事故の発生件数等の統計では、自動車の安全装置が付いているものとそうでないものの内訳があると分かりやすくなると思われる。

【交通課長】 施策への御意見として参考とさせていただきます。

(3) 自転車の交通事故に関する特徴及び対策について

<委員> 自転車に係る交通事故の特徴や事故防止対策はどのようなものか。

【交通課長】 自転車の交通事故の発生場所の多くは交差点であり、その多くは自転車の一時不停止が要因である。

自転車の交通事故の多発する場所等を把握し、署員への情報共有を図り、交通指導取締りの参考としているほか、一時停止等の交通ルールを自転車利用者も遵守するよう指導、教養を図っている。

<委員> 郊外で、イヤホンを付けて自転車に乗っているところや、2列、3列に並んで自転車に乗っているところをよく見掛け、自転車の運転マナーが悪い様子が見られる。

【署長】 パトロール中等で、マナーの悪い自転車を見掛ければ、呼び止めた上での取締りや指導の強化を図る。

(4) 薬物犯罪の検挙状況等について

<委員> 令和7年中の津南警察署における薬物犯罪の検挙が18件とあるが、同検挙者に関する特徴はどうか。

【刑事課長】 令和7年中の検挙者は、外国人が多い。薬物犯罪と併せて、薬物購入費を稼ぐ目的の窃盗事件を敢行している傾向にある。

(5) 交通標識等の汚損への対応について

<委員> 道路設置の標識が老朽化等によりかすんだりして見えにくい状況にあるものは、どのように対応していくのか。

【交通課長】 把握次第、緊急性のある場合の早急な交換や予算措置を踏まえて、順次修繕の手続きを図っている。

<委員> 汚損している標識等を見掛けた場合は、どこへ連絡すればよいのか。設置場所の詳細な地番等が説明しづらい場合はどうか。

【署長】 津南警察署の交通課へ連絡をいただきたい。詳細な地番で無くとも目標物の説明をしていただければ、署員が確認の上、対応を図っていく。

7 公安委員会委員講評

8 署長謝辞

備 考